

DC セミナー／化学生命理工学セミナー

遺伝子発現解析から紐解くサンゴと褐虫藻の共生メカニズム

講師： 善岡 祐輝 博士（OIST マリングеноミックスユニット）

日時： 2023年5月19日（金）16:30～18:00

場所： 共通教育棟 221 教室

「美しい海」の代名詞でもあるサンゴ礁は、地球上の海表面積の0.2%程度だが、そこには全海洋生物種の約30%が生息すると見積もられている。しかし、そのサンゴ礁は地球温暖化などの人為的な気候変動などの影響によってサンゴ礁は衰退の危機に瀕している。サンゴ礁の基盤構成種である造礁サンゴ(以下、サンゴ)の体内には、褐虫藻と呼ばれる単細胞藻類が存在し、両者は相利共生関係を築いています(図1)。つまり、サンゴと褐虫藻の共生系こそが、豊かな生物多様性を育むサンゴ礁の基盤であるといえます。本セミナーでは、自然環境下でサンゴと共生する褐虫藻と、そうでない褐虫藻を摂取した際のサンゴの遺伝子発現応答を比較解析することで明らかになった共生分子機構を紹介したいと思います。



図1. 美しく、豊かな生物多様性を育むサンゴ礁の基盤となるサンゴと褐虫藻の共生系

お問い合わせは理工学部・藤原滋樹（tatataa@kochi-u.ac.jp）まで